

牧野泰広 (自由クラブ)

コロナ禍におけるGIGAスクールについて

**問** 感染拡大の予兆の早期探知のために、教職員のモニタリング検査を行う考えは。

**答** 現在、学校の教職員、保育園、児童クラブなど、子供と接する機会の多い職業を対象に、PCR検査実施といった内容を含めて医師会の力添えをいただき、それぞれの担当部署が一緒になって、どのような方策が有効か協議を行っており、早急に対応策をまとめていきたい。

**問** オンライン授業及びその場合の出席の扱いに対する考え方は。

**答** 学校休業などで授業時になった場合、オンライン授業を実施していく必要があると考える。現在、実施を可能にするマニュアル作成や研修を行っており、市教育委員会と学校が一体となって、準備を進めていく。



出席の扱いについては、文部科学省によると、オンライン授業で行ったものは、授業数にカウントしたり、出席扱いにしたりすることは、現段階ではできないと考えている。

大竹利信 (公明党市議団)

うつ病対策について

**問** 市で行われているうつ病を防ぐための対策は。

**答** 健康がまごおり21第2次計画に、こころの健康づくりの推進として位置づけ、取り組んでいる。

**問** メンタルヘルス不調に悩んでいる方が利用でき



きるオンラインサービス「ココロポ」を広く周知してはどうか。

**答** ココロポは、現在研究中のシステムであるため、周知についてはシステムが構築された後に検討していく。

ユニバーサルデザイン遊具について

**問** ユニバーサルデザイン遊具に対する考え方は。

**答** 公園整備は設計の段階から地域住民や障害者団体等からワークショップ等で意見を伺い進めている。

**問** 市の公園にユニバーサルデザイン遊具を設置してはどうか。

**答** 利用者ニーズや障害者団体の意見を伺い、遊具の導入可能性とともに、公園のバリアフリー化を検討していく。

日恵野佳代

無党派・日本共産党

コロナ禍での学校対応

**問** 感染の不安を少しでも下げるよう、オンライン授業の選択等に早急に切り替えるべきではないか。

**答** 今は感染拡大を予防しながら、子供たちの学びを止めることがないようにと考えている。タブレットを利用した学びも当初予定を前倒し取り組んでいる。

**問** 給食がないことについて市民から怒りが寄せられており、「食事の用意ができない家庭はどうするのか」等の声もある。対応を伺う。

**答** まずは9月10日まで給食なしの午前中授業の対応をしている。食事の機



会を最大のリスクと捉え今回の措置を取ることとした。

大雨の災害対策

**問** 土砂災害警戒区域等の住民に危険が迫ったときの周知方法は。

**答** 防災行政無線や防災ラジオ等で周知を行う。

また、ヤフー株式会社と災害協定を締結し、アプリを利用したプッシュ型の緊急情報の配信等も行っている。

大須賀林 (自民党市議団)

市の土砂災害対策について

**問** 熱海市で7月に発生した大規模土石流災害は、